

一 本校の概要

本校は、大正五年に北海道庁立札幌工芸学校として開校し、平成二十八年に創立一〇〇周年を迎えた歴史と伝統のある工業高校です。卒業生は、二万名を超え、工業技術者はもとより、各分野で活躍しています。現在は、全日制では機械科、電気科、建築科、土木科が各二クラスであり、定時制では機械科、電気科、建築科が各一クラスです。全校生徒は一〇〇〇名を超えています。

二 生徒の活動状況

生徒は、校訓「重厚堅実」のもと、学習活動や様々な教育活動に励んでおり、いくつか紹介します。工業各科に関するものづくりコンテストでは全道大会で勝ち抜き、木材加工部門や測量部門、旋盤部門で全国大会へ出場を果たしています。



H30 ものづくりコンテスト旋盤部門優勝

また、部活動も盛んであり、数多くの部が全道大会へと出場し、ボクシング部は全国大会出場の常連校として知られています。

各科に関係する各種の資格取得にも熱心に取り組んでおり、高校生にとつてはハードルが高いと思われる技能検定にも合格者が出ています。また、資格取得に関わり、全工協主催のジュニアマイスター制度で、ゴールドやシルバーの称号を得ている生徒も多数います。地域との連携では、北海道科学大学との高大連携事業を行っています。また、近隣のショッピングセンターに場所を借りて、生徒が講師となって小学生向けのものづくり（工作・体験）教室を実施しています。



ものづくり（工作・体験）教室

身近な所では、北区の町内会と協働し、清掃ボランティアも行ってまいります。進路状況は、就職、進学ともに希望者全員が9年連続で一〇〇%内定しています。

三 PTAの取組

本校のPTAは、会長、

副会長などの役員の他、各クラスの実行委員が広報部、厚生部、研修部に分かれて一年間の事業計画をたて、各種の活動を行っています。広報部では、広報紙「さつこう」を制作し、生徒たちの部活動やものづくり大会での活躍などが、紙面を飾っております。

厚生部では、札工祭（学校祭）においてバザーや模擬店を実施する事業を行っています。今年度は、味噌おでんや冷やしうどん、炊き込みご飯、喫茶などのメニューがあり、早々に完売してしまうほど人気で、毎年好評を得ております。



札工祭模擬店

研修部では、講演会や体験教室、研修旅行などの事業を行っています。

今年度は、書道家の講師を招いた、講演会とペン習字の体験を予定しています。このように本校では、様々な事業を実施しており、札工祭では七〇名の保護者が参加するなど、各事業とも多数の方が参加し、活発なPTA活動を行っています。